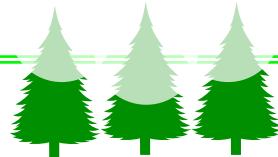




みつぎ便り



第171号 12月号 令和2年12月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です

キク



皇室の紋として使われている菊の花。その花言葉は「高貴」です。原産は中国で、奈良時代に日本に伝來したそうです。以来、日本人は親しみを持って迎え入れてきました。

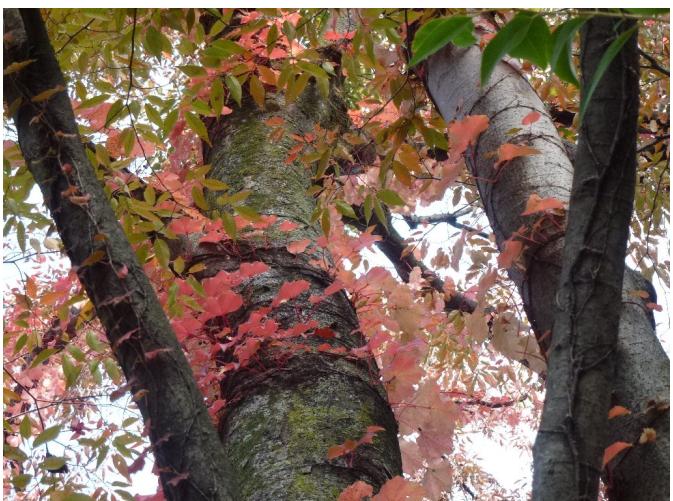
例えば、五節句のひとつである重陽の節句（九月九日）は菊の節句とも呼ばれていますし、その他にも、美しい菊人形をはじめキクの付いたものが多くあります。また、見次公園の花壇にはシロタエギク、ノースポール、ユリオプスデージーなど、

公園北側から池に注ぐ小川の側にフェンスに囲まれて一本のケヤキが見事な紅葉を見せています。そしてこのケヤキに同じように見事に紅葉したツルが、よじ登つて伸びています。♪秋の夕日に♪の唱歌に歌われたツタです。歌そのままで池の背後を飾っています。ツタは、秋に紅葉して景色を彩るだけではなく、清少納言が味わった削り氷（かき氷）や宇治拾遺物語の芋粥にかけてあつた

ツタ

がしにくい昨今、身近なものたちにちょっと目を向けてみてはいかがでしょうか。思いがけない発見で、小さな喜びや楽しみを見つけられるかもしれませんよ。

（静）



甘味料「あまづら」とはツタのつるを切った切り口からしたたる汁を煮詰めたものです。別名のアマヅラ、アマヅルはこのことに由来します。ツタは古くから人々の傍らにあつたもので和歌や俳句に詠まれています。

（薰）

秋こそあれ 人は尋ねぬ松の戸を
幾重もとぢよ 蔦のもみぢ葉

納言が味わつた削り氷（かき氷）や
宇治拾遺物語の芋粥にかけてあつた

式子内親王